

## 令和7年第11回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和7年10月22日(水)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	9:40
	閉会時刻	10:40
場所	神戸の館	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 常本 直史	
会議録作成者	教育総務課 係長 矢萩 志保	

### 1 出席委員

職　　名	氏　　名	備　　考
教育長	三ツ宗宏	
教育長職務代理者	常本直史	
委　　員	徳山周一	
委　　員	高谷絵里香	
委　　員	和田ひろみ	

### 2 出席した者

職　　名	氏　　名	備　　考
教育次長	浅野晃彦	
教育総務課長	中川晃吉	
学校給食推進室長	三浦宮子	
学校教育課課長	田中裕恵	
生涯学習課課長	福井学	
図書館振興室長	佐藤弘敏	
生涯学習課参事	森俊弘	
教育総務課係長	矢萩志保	

### 3 傍聴人

#### 1 名

#### 4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	常本委員
第 3	教育長諸報告	淺野教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 20 号 真庭市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
	議案第 21 号 真庭市職員分限懲戒等審査会の諮問について	非公開案件
第 5	その他	
第 6	閉 会	

## 5 議事の大要

(9時40分 開会)

### ○三ツ教育長

今日は地域開催ということでよろしくお願ひします。これから第1回教育委員会を開催いたします。以下、議事日程に従って進めてまいります。日程第一、教育長挨拶です。

資料を見て下さい。令和3年の総合教育会議で議題になったことです。児童生徒の自己肯定感を高めていくことが大事なのではないかということで議論したのは覚えておられる方もいらっしゃると思います。大体、真庭市の子どもたち、小中学生は全国と同じ傾向だったんですが、若干低めという回答の様子でした。そこで議論したことをもとに、次のページをご覧ください。

自己受容ということが1番大事だろうということを軸にしながら、取り組みの柱としてきました。

1つは、インクルーシブ教育。

1つは、郷育を核としたキャリア教育。

社会教育の関係性が強いのですが、多世代が一緒に集まって活動するという、顔の見える人間関係づくりのようなことに何年間も取り組んでもらってました。

その次のページをご覧ください。その一つの形として、すべての学校でのコミュニティスクールの導入、それから地域学校協働活動も行っていました。子どもを真ん中に置いて、みんなで取り組んでいこうという取り組みですね。

次のページをご覧ください。何が効いたとか、何が効かないんだっという話ではないんですけども、推移を見ていただけたらわかると思うんですが、グラフの方を見てください。オレンジ色が真庭市、青色が全国です。ずっと全国よりも少しだけ自己肯定感という観点で見ると真庭市が低めできていたんですが、ここ数年間、全国的にも自己肯定感は向上の傾向ではありますけども、小学校、中学校ともに向上に向かっているという結果が見て取れると思います。すべてがこれで解決するとか、これがすべて良かったということではありませんけど

も、1つ取り組みの方向性として、自己肯定感という観点については効果が見られているのかなというところの資料として提供させていただきました。

その次のページをご覧ください。少子化、人口減少というのは、どこも進んでいることなので、やむを得ないところがあります。子ども真ん中に置いた地域づくりをしていく中で、島根県の浜田市の例ですが、成人式の時にアンケートをずっと経年的に取っておられるそうなんですね。「将来、益田市に住みたいか」というアンケートの結果があります。2023年の段階で、20歳のこの83%がはいと答えている。同時に「魅力的な大人は多いと思うか」という質問に対して、90%がはいという回答になっている。じゃあここでは何を取り組んできたのかということなんですが、次のページをご覧ください。

まちづくりの真ん中に、「子ども真ん中」ということを位置づけてているということですね。1つは、大人が学び、考えるんだということ。要するに、子どもに「あれをせないけん。これをせないけん。」と言うことは、もちろん大事なことだけど、大人都合を押し付けるだけじゃなくて、子どもを暖かく見守っていく、子ども仕事するということが大事で、同時に大人が楽しんでいるっていうことが大事。

2つ目は、子どもは大人の活動をつなげる接着剤だし、活動が活性化する触媒だという考え方をずっと大事にされています。地域の活動量を支えるんだと。

3つ目は、人をつなぐためにはコーディネーターが必要。人つなぎを進める人が大事なんですよということ。

4つ目は、拠点が必要。真庭の場合は、地域の隅々にまで行き届いている公共財は図書館であり、学校である。そこが拠点になるということが、考えられるかなということです。

次のページご覧ください。いわゆる益田市は人循環というのを進めてきているわけなんですけども。ありがちなことで、気をつけなきゃいけないなっていうことを2点あげています。

大人の事情がないんですぐると子どもは窮屈になるよということです。

1つは、将来の担い手が必要なんだということで職業教育をする。しかし、

1つ間違うと職業を子どもたちはどんどん調べていきますから。あのかっこいい仕事はこの地域にはないねっということで、外に行く。ワークキャリアではなくて、ライフ、いかに生きるかというキャリア教育が大事なんだということですね。同時にふるさと教育ということが色々な地域でやられるんですけども、「教えよう。」ということになっちゃうと、子供は受け身になってしまることが多い。そうではなくって、やっぱり一緒に楽しむということが大事ということと、子どもの関わりしろを生み出すということが大事ということをおっしゃっています。

あとは資料を読んでください。この間の子どもたちの様子の変化と、これからを考える上で大事なことなのではないかと思ったので、冒頭にお話をさせていただきました。

この後、一部、学校訪問をしていただいたので、皆さんの意見や感想も聞かせていただきたいと思いますので、後でよろしくお願ひします。私からは以上です。

それでは、日程第二です。署名委員の指名についてですが、今日は常本委員さんお願ひします。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

よろしくお願ひします。続いて、日程第三 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○浅野教育次長

市議会関係：文教厚生常任委員会（9/18）

市教育委員会関係：9月定例教育長会議（9/26）美作市

## 令和7年度県教育長との意見交換会 10月21日（火）県立図書館

小・中学校関係：教職員について（交通事故）  
(資料により説明)

### ○三ツ教育長

以上、報告させていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見ありますでしょうか。

よろしいですか。日程第四の付議事件なんですが、その前に、先ほど私の方からもこの間の自己肯定感の様子なんか報告させていただいたんで、学校訪問もまだ途中ですが、委員の皆さんのご意見やご感想とあつたら聞かせていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

### ○徳山委員

自己肯定感と関係ないかもしれません、どの学校に行かせていただいても、子どもたちが本当に落ち着いて授業に向き合っている。先生方とうまく信頼関係が築けている学校や学級が多かったなと思っています。それから先生方、学校全体で、特別支援の観点で子どもたちを見ている、見守りをしている、指導しているという様子があって、そのことが子どもたちにより影響をあたえ、落ち着きへ繋がっているんではないかなと、今、行ったところでは、そういうことを感じています。以上です。

### ○高谷委員

私も、徳山委員がおっしゃっていた信頼という言葉をすごく感じました。先生と子どもたちの信頼関係が本当に4校どこもよく見えました。先生から子どもへの信頼が、成長を身を守る姿勢だったり、子どもたちが先生に話しかけられてすごく嬉しそうな表情をしたりして先生を信頼している様子なんかを感じました。やっぱりどの学校に行っても、眞庭はすごく先生たちがすごく頑張つ

ていらっしゃって、安心して通える学校にしてくださっているんだなという印象でした。以上です。

○常本委員

特別支援の観点で、皆さんが意識して子どもたちに接してゐるなというのを感じました。特別支援が必要な子どもたちが安心している場所というのは、他の子にも非常に影響もあって、わかりやすいということじゃないかなと思ってます。それから、非常に落ついた状態で教育がなされてるなあという感じがすごくありました。あと、どうしても学校が落ち着くと、先生方も落ち着いてしまって、申し訳ない言い方になるかもしれません、「では今この子たち、落ち着いているので、こういう力をつけさせてやろう」という、「ここに今度はチャレンジしよう」という、その先をもう少し見ていったら、さらに良くなっていくのではないかと私は思いました。

それと、今までずっとやってきた地域と関わる教育活動がとても充実していて、この数字から見ても、これからも継続していくことが必要なんだなと思いました。益田の話も出ましたけども、この結果が出ているで、真庭も今まで以上に地域とともに子どもを真ん中に置いて育てることが必要なんだろうなと思いました。今のところ、そんな感じです

○和田委員

皆さんが言われたように、本当にどこの学校も落ち着いて来られて、そして、環境もすごく綺麗に整っていて、安心安全で子どもたちが学校に通わせていただいているなと思っておりますし、先ほど常本委員さんが言われたように、コミュニケーションスクールや地域学校協働活動などの充実が、充実というか浸透がされていて、本当に地域の方が協力的に学校のことを応援してくれているっていうことを、どこの学校の先生方からもお伺いしたので、今度はそれを生かして、次のフェーズというか、子どもたちのそれぞれの個性を活かして、「どう真庭市の子どもたち、学校の子どもたちが、これから個性を発揮していけるのか」

という次の段階にもしかしたら入ってきてるのかなということを感じました。子どもたちが今度は安心安全だから、もっと生き生きとのびのびと目を輝かせる、さらに次の何かが見えてくるといいなど、すごく期待感が持てます。

また、本当に特別支援が充実していて。前に行った時はうろうろしたりとか、どこに何をしたらいいのかっていうのが分からない子どもたちがいたんですけど、学年も上がって落ち着いたというのもあるもかもしれません、席に座つて、みんなとは違うことだけど席について自分がやれることをやってたり、先生がそれにちゃんと対応されているで、すごいなと拝見して、ありがたいなという思いで見させていただきました。ありがとうございました。

○三ツ教育長

ありがとうございます。

○常本委員

勉強したことを残していくという、ある図面を見て、図を張って、ノートにそれについて自分の考えを書いていくという、ポートフォリオですかね、それを残していくノートを使っていたので、例えば体験をした時とか、中学校だったら職場体験なんかですかね、行った時に文章だけ書くのではなくて、切り抜きを貼って、聞いたことをメモするとか、僕はよく写真を撮って貼ってこうメモするとか、自分のノートを作るような感じですればよいと思った。すると、後で振り返りができたり、定着するのではないかと思うので。そういうことを、いつもではなくても、場面場面で作っていくことも必要かなと。結局、勉強のプロセスが見えるので、フィードバックもしやすいからよいのではないかと思いました。

高校生を見ていて、失敗した時に再チャレンジする耐久力ですかね。忍耐力と言いますか、そういうものがついてきているのかなと思います。その辺のところも、先生方が意識する必要かなと。レジリエンスとか、色々な言葉があつたと思うんだけど、そんなところも、子どもには、失敗して悔しいとかいう

ことが、教育活動の中であってもよいかなと思いました。

#### ○徳山委員

ある学校で、勉強しなくて、漫画を読んでいた子がいた。私はあれがすごく印象に残って。昔だったら絶対に先生も許しにくいことだし、周りの子どもたちが許さないので、それが学級が荒れていく元になっていたと思うんですよ。それを先生はもちろんんですけど、子どもたちがあれを全然許していく、許容できるという指導に学校全体でされてるんだなっていうのがすごいなと思いました。だから今の先生方皆さんが子どもたちに本当に寄り添って指導をされていることがとてもよく伝わっていて、こういうことが例の自己肯定感なんかにも、大きくつながっていっているのではないかなというのを感じました。

また、本当にどの学校でもデジタルをうまく活用されていたので、それはすごいなと思うのだけれど、アナログの方がよい場面も結構あったと思うので、わざと自分が考え、事実解決をするための時間は、紙の資料を元に考えるという学習も、場合によっては大切にしていかなければいけないことなのかなと思いました。以上です。

#### ○三ツ教育長

よろしいですか。皆さんおっしゃられたとおりです。子どもたちが居てよい場所にだんだんきてるのかなというのは一番ありがたいと思いました。その要因はもちろん先生の支援もあるんだけども、今、徳山委員おっしゃいましたけども、周りの子どもがやっぱり育っていってる。何でも認めるということではないんですけども、違いも含めて、一緒になってものを考えるということが、だんだん日常化されていくことはありがたいなと思いました。同時に、授業部分に関しては、今、常本議員もおっしゃいましたけども、同じ話し合いをするにしても、大事なことを子どもに語らせるためにはどうすればよいのかということも含めて、まだまだ研究の余地もあるし、考えていかなければいけないなということがあったわけですね。そのあたりのところもまた、今後の学校

との対話の中に生かしていくべきだと思います。限られた時間でしたけれども、ありがとうございました。

よろしいですか？日程第四 付議事件に移ります。議案第 20 号 真庭市教育費教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則についてお願ひします。それでは学校教育課の方から話をさせていただきます。

○田中学校教育科長

提案理由：岡山県の地域別最低賃金が令和 7 年 12 月 1 日に改正され、時間額が上昇することから、最低賃金を満たさなくなる業務教師業務アシスタントの時間額の変更を行うため、所要の改正を行うものである。

主な改正内容：業務アシスタントの時間給を 1055 円に改めるもの。

令和 7 年 12 月 1 日から施行。

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま説明がありました。この件につきまして、議員の皆さんからご質問ご意見もありますでしょうか。よろしいですか？

それではお諮りをいたします。議案第 20 号 真庭市教育委員会会計年度任用職員の給与及び利用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則についてご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは異議なしということで、原案可決でお願いをいたします。

続いて、議案第 21 号 真庭市職員分限懲戒等の審査会の諮問についてあり

ますが、当議案につきましては内容に個人の情報を含みます。したがって、教育委員会会議規則の 12 条第 4 項に基づいて非公開にて開催をさせていただきたいと思いますが、委員の皆さんから、この件について御異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

異議なしということで、本件につきましては非公開の取り扱いとさせていただきます。

○三ツ教育長

では続いて日程第五です。その他ですが、委員の皆さんから何かありますか？ よろしいですか。それでは、事務局から何かありますか？

○浅野教育次長

- ・第 11 回教育委員会 11 月 20 日 (木) 9:30~
- ・第 12 回教育委員会 12 月 23 日 (火) 9:30~

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

(10 時 40 分 閉会)